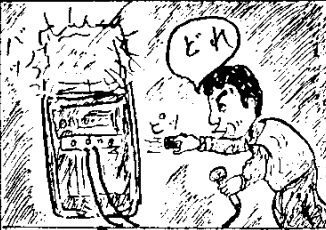


99, 4, 1 刊
発行

Yeah! マネージャー No.3



拝啓 April

春です、学校教育になじん
たせいか4月になると新しい
季節がやってきたような錯覚に
おち入ります。あの娘と同じクラスになら
ないかなーとさうさ、今度の先生はどんな
人かなーとさうさ、そんな興奮が
春、4月です!

ロッキトップで売ってるCD特集!

- SHIME 「Years Of Years」 ¥2,500
SHIMEさんの最新CD。専身大の自分を優しく笑って歌っています。バックミュージシャンに西海さん、真沢さん、ケンちゃんetcが参加
- 有田純弘 「Whole Dance」 ¥2,500
日本が世界に誇るバンジョープレイヤー有田純弘が「バンジョー」という楽器の可能性を思いきり追求した作品。「コピーできるもんやうしてさうよ」と本人は言っています。
- Mule Project ¥2,500 ビル・モロ・追悼をこめて日本のトップブルグラスプレイヤーがモロ・ソングをリメイクした。あのアソビ・ブワンが「素晴らしい」と絶賛している。6.6 興沢、Bj 西海、Ma 海堂、茂果、B 林
- 井上智資 「ジャングルオムニバス」 ¥1,000 当店のチーフ井上がある年系列の「都会のカラス」というオリジナルソングが収録されている。登録代だけで弾いてくれた西海さんのスタジオギターが光ります。残り1枚
- KOYAMA & SHINOBU 「Remember Me」 ¥2,500 現在は「LALALA」で活動している山さんがのぶさんと共に作ったブルグラスとカポットのほぼ融合した作品。ジャケットの似顔絵もGoodです

ついに越田Tシャツ完成!



ブルグラス界のトモと言われてはや
10年、今はその役目も終え、ひたすら老
成の道を進む。バンジョー・ロボ2号越田
(号はWillieの封じ札)のTシャツが完成
した。プロ奏者小島さんとチーフ井上が提
携して作成した。思わずスズに着衣
なってしまうブルグラー必須のアイテムだ。
希望者は小島さんの名入。¥1,000で越
田ミニシル印。今年のTシャツはこれだ。
越田Tシャツを着よう!

Yeah! 新マスター No.1

マスターはあせり症の巻 チーフ井上
マスターは2分に一度はあせている



ブルグラスな人達 ~ Meet the Bluegrass ~



ブルグラスとの出会いを通してブルグラスを考察するこのコーナー。今回は、さわやかなボ
カルをきかせてくれる、モニング・ミルズの紅一点、古崎恵子さん(42)です。ブルグラス界の需
要からして非常に女性の数は少ない。一度入ると数々の世話好き(?)な男たちに包囲されてし
まう。その体験者が語る、Meet The Bluegrass **私をズズに連れだして型**

→ 母親が奄美大島出身。とても陽気な常に鼻歌を歌い踊っていた。恵子さんは子供の頃からそんな母の歌をきいて育ちあがって童謡からビートルズまで音楽が好きだった。上の姉がビートルズ世代でギターも弾いていた。恵子さんは小学生の頃からギターを弾き始めた。姉が歌い、恵子さんがギター伴奏とコーラスという形でよく家で演奏していた。吉田拓郎などはチャリ・アルバムで「僕が愛が高き伸びて... 結婚しよう」と姉とハモリながら歌った。体が弱かったこともあり家にこもりがち。中学、高校と部屋でギターをつま弾いたりする少女時代だった。そんな女の子がひんなことろでエッセイを書くことになった。アングラな中流、高校と部屋でギターをつま弾いたりする少女時代だった。そんな女の子がひんなことろでエッセイを書くことになった。アングラな劇団活動が外に向かいていく一つの出口だった。そして、母の養育所だった。そこで取っかきながらも人前で歌い踊るレッスンを格的にやってみようという背中を押して入ったのが、ミズジカルの養成所だった。そこで取っかきながらも人前で歌い踊るレッスンを受けた。それが20代の前半。そして出会いがあり、その男性と付き合いになる。彼がブルグラスをやっていた。ズズに打たれ、話され、結婚の「卒業」した。初めてブルグラスをきいてすぐ好きになる。「なんでも楽しい音楽なんだろー」女性需要に押し付けられた。ブルグラス界に突然現れた恵子さんに「フジョウの下の心を外へ。そして世話好きおじさん達に囲まれ、歌の好きをきき、そして、天の曲の心に詞を現るとその時々に驚いてはた「あ、いいや」と自分の感覚で楽しく歌うことになった。アリスさんにも恵子さんは「アリスさんは子供の頃から歌で聖歌と特長があったのに、ハモリ方が違っただけに、ブルグラスのバグワズでは、もともとハモリ感覚が身に付いて逆に難しかった。今ではセブズでハモリもできる。本来はソロ、おハモリが好きなのに、モン・ソングのモノとして、こころもジャンルにとらわらず、何でもあり、自分の好きな歌とバンドで表現していきたい」との夢、意外な理由でブルグラスに新しい風を吹きこんでほしいのだ。最後に私がブルグラス人達と「おじさん達、おじさん」と話して、おじさん達も同じです。 → 4/27(水)に出演します!